

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 5 日(2024.8.5)

【公開番号】特開 2023-19045(P2023-19045A)
【公開日】令和 5 年 2 月 9 日(2023.2.9)
【年通号数】公開公報(特許)2023-026
【出願番号】特願 2021-123507(P2021-123507)
【国際特許分類】
G 0 3 G 1 5 / 2 0 (2 0 0 6 . 0 1)
【 F I 】
G 0 3 G 1 5 / 2 0 5 1 5

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 7 月 26 日(2024.7.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

少なくとも、
円筒状基体と、
前記円筒状基体の外周面に形成された弾性層と、
前記弾性層の外周面に形成された離型層と
を有し、
前記離型層が
フッ素樹脂からなり、
X 線回折法による配向度が 40% 以上 59% 以下であり、
かつ 170 における膜厚方向の熱拡散率が $5.9 \times 10^{-8} \text{ m}^2 / \text{s}$ 以上である
ことを特徴とする定着フィルム。

30

【請求項 2】
前記離型層のフッ素樹脂が四フッ化エチレン・パーフロロアルキルビニルエーテル共重合体樹脂(PFA)からなる
ことを特徴とする請求項 1 に記載の定着フィルム。

【請求項 3】
前記離型層としての PFA が押出成形により製造された PFA チューブである
ことを特徴とする請求項 1 乃至 2 に記載の定着フィルム。

40

【請求項 4】
前記定着フィルムは、記録材に転写されたトナー像を加熱により定着させる定着装置の構成部材であり、
前記離型層は、片面に画像形成する際の前記記録材におけるトナー像形成面と接触することを特徴とする請求項 1 に記載の定着フィルム。

【請求項 5】
請求項 1 乃至 4 に記載の定着フィルムを有することを特徴とする加熱定着装置。

50